

若者の仲間づくり支援事業 の取組について

若者の価値観や出会いについて

○若者が考える理想のライフコース

・女性の理想ライフコースにおいては、共働き志向が年々上昇し、2021年で最も高い割合となっている(34.0%)。また、「結婚せず、仕事を続ける」と回答した割合も、2015年の5.8%から2021年は12.2%と上昇している。



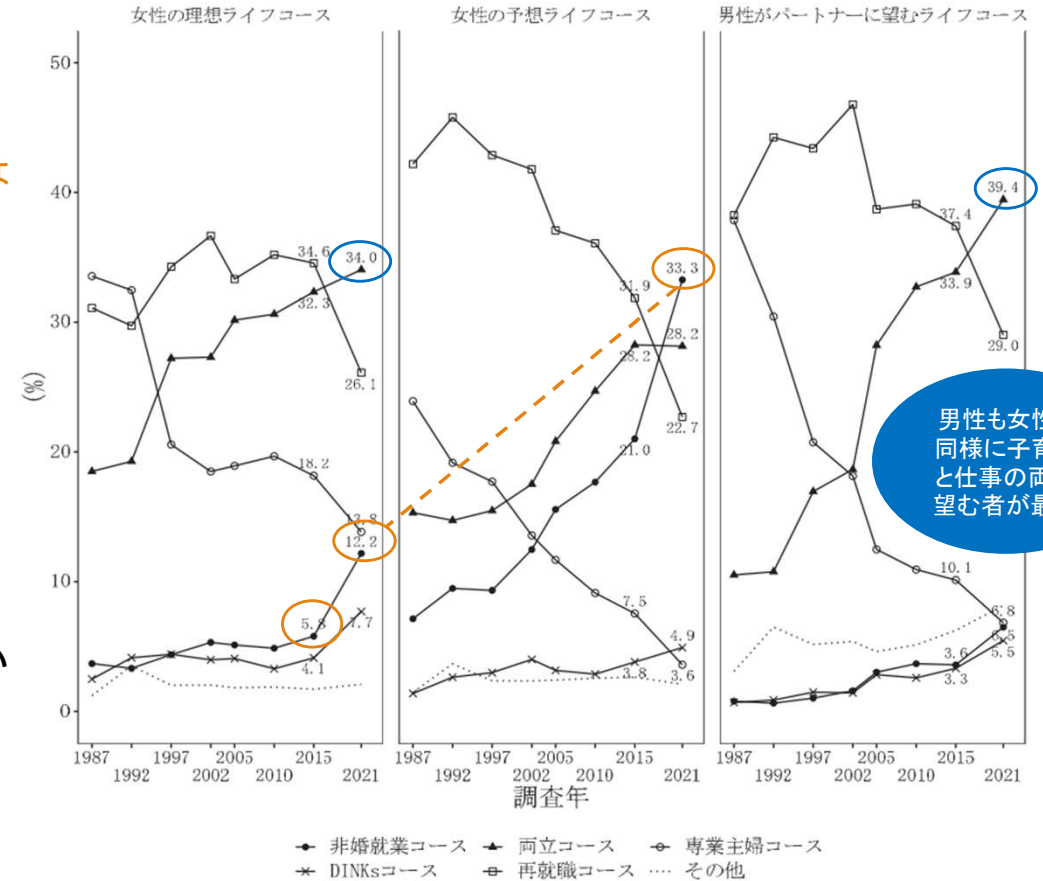
結婚や仕事に関する
考え方が変化

・2021年の女性の理想ライフコースと予想ライフコースを比較すると、「結婚せず、仕事を続ける」と回答した者は、理想では12.2%である一方で、予想では33.3%となっている。この差から、「結婚する」ことを理想とした者が、予想では結婚しないと考えていることがうかがえる。



結婚における理想と
予想に乖離

※調査対象は18歳～34歳の未婚者



国立社会保障・人口問題研究所 第16回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)

若者の価値観や出会いについて

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響

図表2-2-7-1-2 普段の外出頻度(性別、年齢別)

		n	平日は毎日外出する	仕事や学校で週に3〜4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	普段は家には出ないが、近所のコンビニなどには出かける	家からは出ないが、自室からは出る	自室からはほとんど出ない	無回答
性	男性	(3,013)	73.0	10.3	2.8	3.4	5.9	2.8	0.9	0.2	0.7
	女性	(3,935)	66.4	13.6	4.7	5.0	4.7	4.2	0.6	0.2	0.6
年齢	15歳〜19歳	(1,293)	84.4	7.0	1.4	1.5	2.9	0.9	0.9	0.3	0.7
	20歳〜24歳	(1,181)	64.0	18.6	4.0	4.6	5.3	2.3	0.7	0.3	0.3
	25歳〜29歳	(1,305)	62.4	12.8	5.5	5.4	6.5	5.6	0.8	0.3	0.7
	30歳〜34歳	(1,468)	67.5	12.4	5.0	4.3	5.6	3.7	0.5	-	1.0
	35歳〜39歳	(1,788)	68.2	10.8	3.4	5.4	5.7	5.0	0.7	0.2	0.6

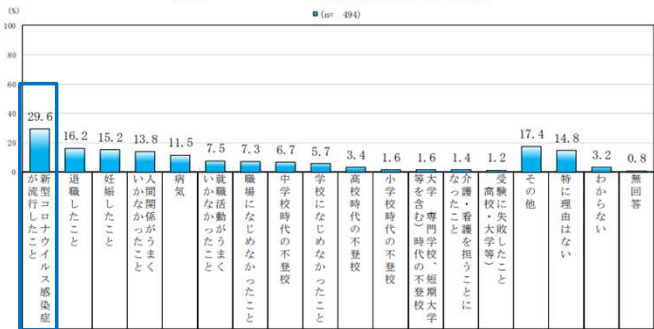
・「遊び等で頻繁に外出する」や「人づきあいのために時々外出する」と回答した割合は全ての年齢区分で一桁台となっている。

・また、現在の外出状況になった理由では、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」を選択した割合が最も多い。

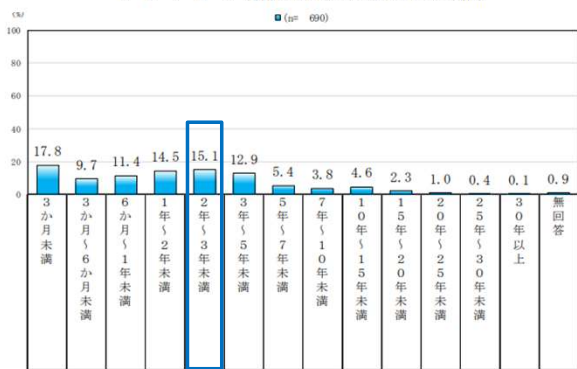
※ 感染症法上における2類相当に位置づけられた期間: 令和2年3月〜令和5年5月
この間、緊急事態宣言が計4回発令された。

・「現在の外出状況になってからの期間」を見ると、2〜3年未満以降に回答した割合が集中している。

図表2-2-7-4-1 現在の外出状況になった理由



2-2-7-2-1 現在の外出状況になってからの期間

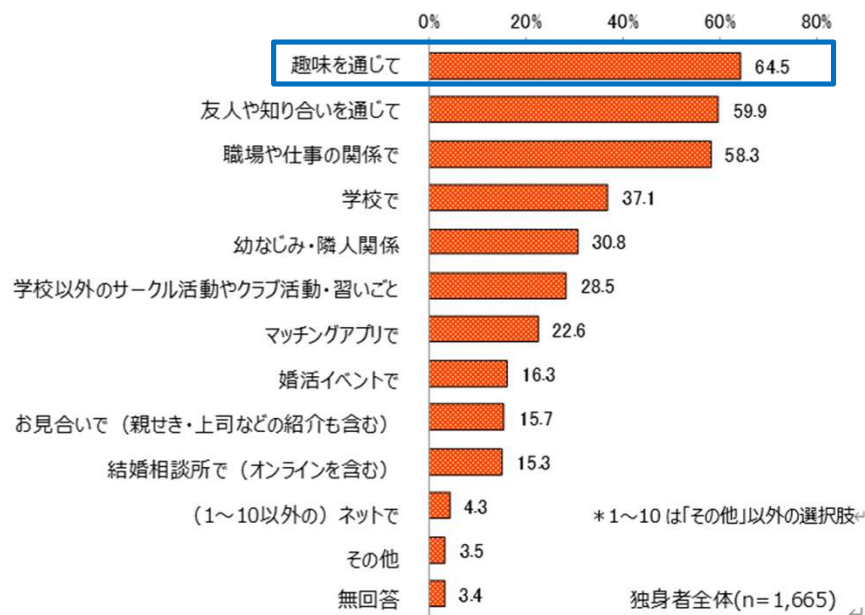


こども・若者の意識と生活に関する調査(こども家庭庁調査 令和4年度)

新型コロナウイルス感染症
拡大の影響により
若者は行動を抑制された

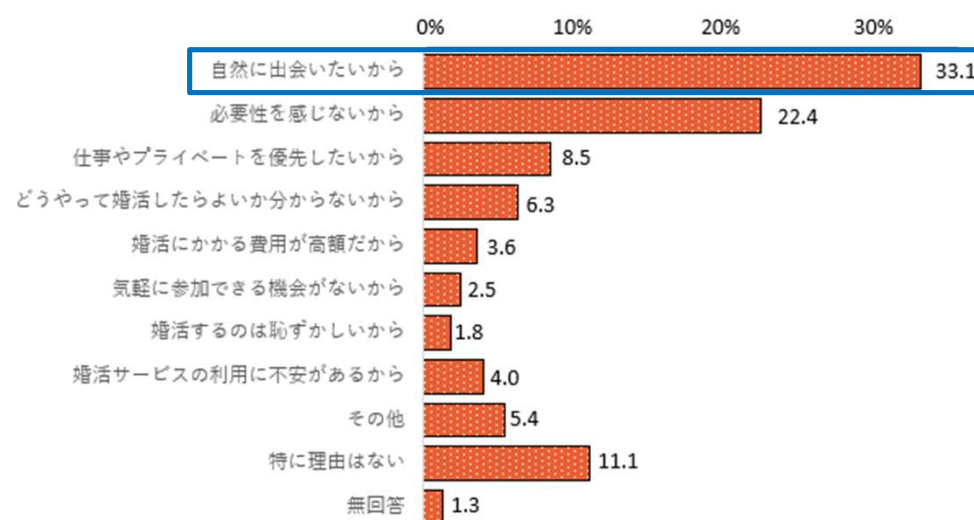
若者の価値観や出会いについて

○若者の求める出会い



【千葉県】少子化に関する若い世代の意識等調査（2024）

○婚活していない理由



若者は趣味等を通じた
出会いや、
自然な出会いを
求めている

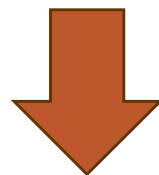
- ・独身者における理想の結婚相手との出会いで最も回答数が多かった項目は、「趣味を通じて」であった。
- ・婚活をしたことがない者の「婚活していない理由」で最も回答数が多かった理由は、「自然に出会いたいから」であった。

このような背景を踏まえ

ミラチバプロジェクト

～未来につながる、未来をつくる千葉での出会い～

官民連携により、若者の出会いや繋がりを県全体で応援していく



若者が仲間に出会える千葉県へ

若者の仲間づくり支援事業

ちば部 発足

若者同士がスポーツやグルメなどの趣味や
関心があることでつながり、自然と深い仲間
ができる「部活動」のような、地域密着型の
コミュニティを令和7年8月に発足。



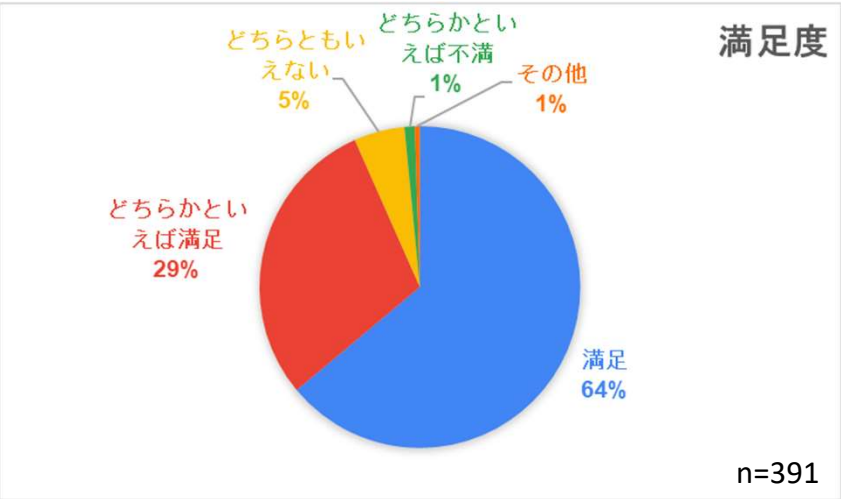
令和7年度における「ちば部」の実績

○「ちば部」イベントの実施状況

野球・サッカー・ゴルフ・バスケ・グルメをテーマとしたイベントを計18回開催し、計422人が参加

○「ちば部」イベントの参加者満足度

参加後のアンケートでイベントの満足度を集計したところ、93%が満足という結果になった。



○「ちば部」イベントの企業連携状況(49団体)

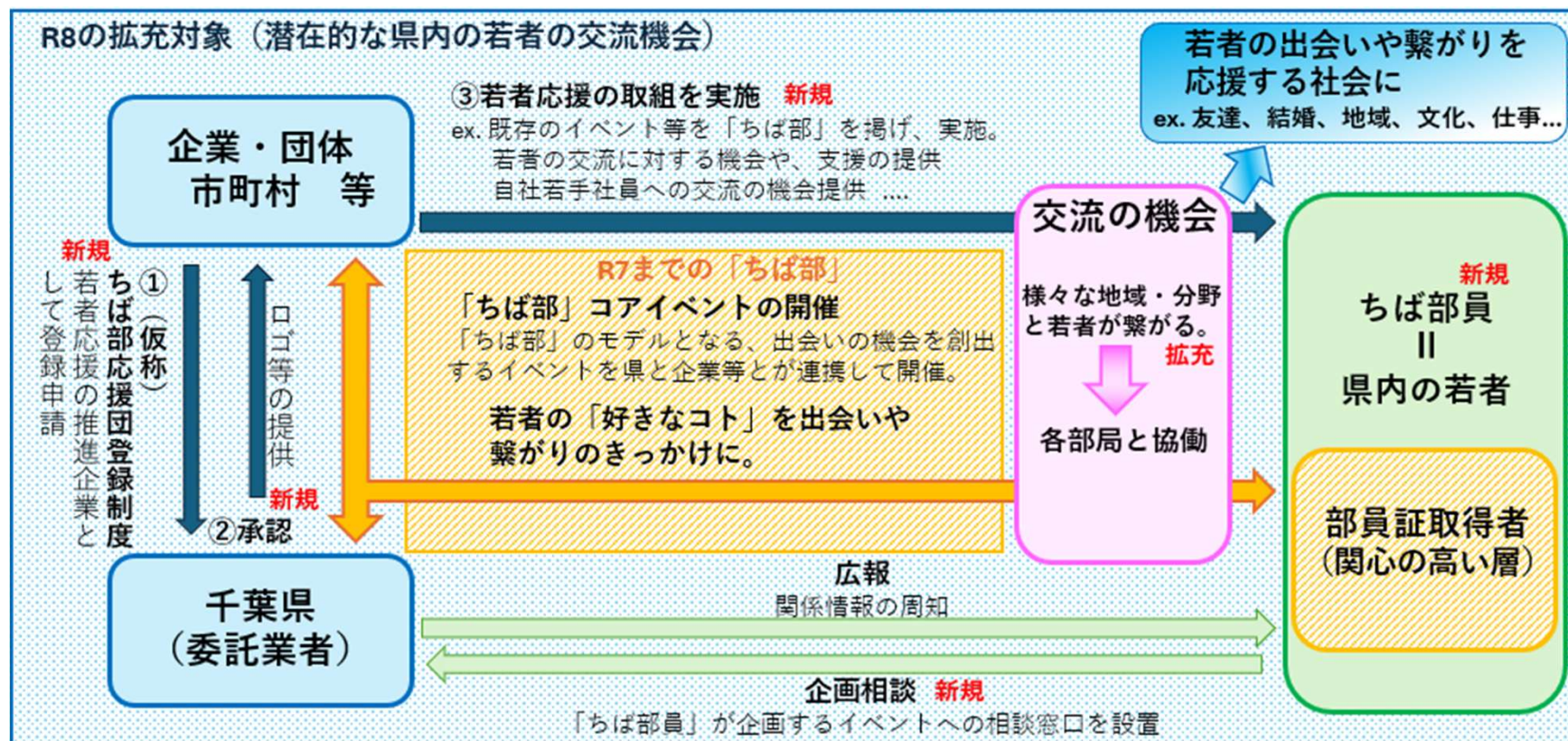
各チーム	賛同企業(抜粋)
チーム野球	(株)千葉ロッテマリーンズ・(株)千葉ステーションビル・(株)ゼットン
チームゴルフ	千葉県スポーツ協会・千葉県アマチュアゴルフ協会・ダイナミックゴルフ千葉・(株)アルペン
チームサッカー	千葉銀行・(株)千葉テレビ放送・バルドラール浦安
チームバスケ	(株)ケーズネットワーク・(株)ちばぎん商店
チームグルメ	(株)京葉ガス・道の駅しょうなん・江戸前海苔師 坂才丸
チームマラソン	きさらづスポーツコミッション・(株)新昭和・木更津ワシントンホテル・(株)クロスプレイズ・FUN DAY FARM・RNU&BEER・(株)サンミュージックプロダクション・ニチバン(株)
その他	京成電鉄(株)・(株)イウォレ京成・キリンビバレッジ(株)首都圏統括本部・(株)大成建設・JFEスチール(株)・千葉ポートサービス

○令和7年度ちば部取組の振り返り

・若者が楽しめるコンテンツを中心に、満足度の高い「若者の仲間づくりの場」を作ることとはでき、一定の企業と連携できた。

一方で、県が主体的に関与できる範囲には限りがあり、本来、対象とすべき事業スケールに及んでいない。

令和8年度における「ちば部」実施方針



・少なくとも県内の若者約150万人(18歳～39歳)と事業所等約20万所を対象とした事業にしていくために、県内企業等が幅広く参画できるよう分野に捉われない登録制度を設け、企業等主体の交流機会を「ちば部」公認の取組として発信することで、**若者応援の見える化と機運醸成を図る。**

また、若者応援は全ての施策の基盤となるため、あらゆる部局と協働し、**様々な社会課題の解決にも繋げる。**